

ベイタウン
写真館

昔、写真がプロの技術で、カメラもフィルムも高かったころ、どこの街にも一軒は「写真館」があった。子どもが産まれたときや入学の時など家族の節目の日に晴れ着を着て写真館に行き、できあがった写真を大切にアルバムに収めていったものだ。今はカメラが安くなり、誰にでも写真がとれるようになったので、写真は自分で撮れるようになったが、それに応じて、家にはスナップ写真があふれ、1枚の写真の相対的な価値も下がってしまったような気がする。家族で記念になる写真があればいいと思い、晴れ着を着た家族が集まるベイタウン音楽祭(オータムコンサート)に出かけた。



「スナップ写真程度で、改まって家族の写真をとったことはない」という右近さん(マリンフオー)とご一家。写真左から朱美(母)、麗(うらら)、廉太郎、一成(父)。コンサートでは麗さんがピアノを演奏した。



「家族写真を撮るのは七五三以来」という加藤さん(8番街在住)ご一家。写真左から由花(母)、未紗、浩修(父)ベイタウンには9年前に入居。小4のお兄ちゃんを含め4人家族だが、お兄ちゃんは大好きな野球で今日は参加できなかった。



「この4月にサウスコートに来ました」という甲田さん。写真左から華歩、実央、あき子(母)。「ベイタウンはとても気に入っています。こんな機会があつてとても楽しい街です」



「コンサートは2回目。昨年もオータムコンサートにも参加しました」という小村さん(シータウ)ご一家。写真左から桃子、奈夏子、悦子(母)。ベイタウンは4年目。「写真は小さく載せてください」とのこと。



大塚さん(サウスコート)ご一家。写真左から靖子(母)、日菜乃、みなみ、研二(父)。サウスコートに住む前はすぐ近くの12番街に。ベイタウンには入居2年半とのこと。今日は長女の日菜乃さんの発表会。家族で応援に来た。



海浜打瀬小学校一年生の創希君の発表会でコアにきましたという林さん(15番街)ご一家。写真左から峰美(母)、創希、俊男(父)。林さんは創希君とよく似たお兄ちゃんを含めて4人家族。兄弟そろってとても活発。

防風林間伐体験取材記

去る10月30日土曜日に行われた、幕張海浜公園の海側、幕張の浜前のクロマツの防風林の試験間伐を佐藤記者と一緒に体験取材した。【板東】

この催しは、NPO法人『みどりのネットワーク千葉』による、住民参加で幕張海浜公園海側ブロックを再生させよう、という活動の一環で行われた。このクロマツ林は、防風・防砂などに重要な働きをしているが、植林後20数年を経て、1度も間伐が行われなかったため、過密な状態(健全な密度の2倍)となり、そのまま放置すると極めて危険な状態になるということが事前調査で明らかになっていた。

当日やや雨交じりの現地に集まったのは、『みどりのネットワーク千葉』のメンバーや、千葉県森林研究センターの専門家の方々、

そしていつもベイタウンの緑を気にかけて、行動しているグリーサムの面々など、総勢約30名。本格的な“樵ファッション(?)”の超ベテランから、軽装の記者など、いでたちはマチマチだ。

まず、森林研究センターの方から、間伐の必要性や、当日の作業の要領などの説明を受け、25m×25mの対象地域を4つに分けた各区画に参加者は散らばった。

素人の記者の目から見ても、クロマツの下枝はかなり枝が落ちてまばらになっており、また、クロマツ同士やブナ科のマテバシイなどが干渉しあっている様子が見とれた。そもそも植林はプロが行

うのだから、最初から“適正な本数”で植えれば良さそうなものだが、若木のときはある程度の密度がないと浜風に負けてしまうためこの本数は必要であり、ここに至るまで“助け合って”生きてきたが、今では下枝まで十分光が届くには過密になったため、林として健全な状態とするためには、いくつかの木には“犠牲”になってもらうしかないとのことであった。参加者自ら、“犠牲者”を選んで黄色のリボンを付けたのであるが、例え林全体のためとはいえ、20年間に渡って生きてきた樹木の命を奪うことには少々抵抗を感じるが、(1)幹の細いもの(2)下枝が枯れてしまっているもの(3)周りの木との距離を基準に間伐する木を選んでいく。

作業が始まると、そこかしこでチェーンソーのけたたましい音が響き、緑と不釣り合いな燃料の匂いが辺り一面に充満した。そして、あっと言う間に全体の20%程度の木が伐採されていった。先に健全な密度の2倍と記したが、一気に半分にしてしまうのではなく、ある程度を試験伐採し、その後慎重に様子を見るとのことだ。

記者ら素人は、チェーンソーを扱うと危険とのことで、のこぎりでの伐採を体験した。のこぎりを扱うのは中学校の技術家庭科以来で、頭では分かっているが押す力・引く力の加減ができず、なかなかうまく行かない。それでも何とか直径12cmほどのクロマツを1本だけ伐採させてもらった。



見よ。この年期的に入った腰つき。

こうして2時間程度の作業を終えると、うっそうとしてあまり光が届かなかった林も、まるで散髪に行つて梳いてもらったように小ざっぱりして気持ちの良い状態になった。自分で体験することで、今後この防風林がかなり気(木)になる存在となった1日だった。



作業前の説明を聞く参加者。

明日(11/7/Sun)、幕張海浜公園に集まろう!

～幕張海浜公園まつり'04

インラインスケート、ダンスパフォーマンス、デイキャンプ、アート、海辺の森づくり体験、じゃんけん大会など楽しい企画がいっぱい。今回ご紹介した松林(防風林)でも、間伐体験や木道づくりを行います。松葉を使った焼き芋や焼きサンマを味わう秋の味覚コーナーも。

日時:11月7日(日)、9:00～16:00(雨天中止)

場所:幕張海浜公園DEブロック(マリンスタジアム横)

主催:NPOみどりのネットワーク千葉(043-303-6616)

CORE CALENDAR November 11月のコア

講演会「再犯防止と犯罪被害救済」

11/6
(土)

開場:午後1:00 開演:午後1:30
会場:ベイタウン・コアホール
主催:青少年育成委員会
入場料:無料
定員:200名(定員を越えた場合、入場をお断りする場合があります)。

寺子屋工作ランド

11/27
(土)

「木の実笛」と「スーパー竹トンボ」
時間:9:30受付 10:00開始
会場:ベイタウン・コア工芸室
もちもの:50円(保険費、材料費)、小刀(ある人、ないひとには200円で販売します)、てぶくろ、ものさし、タオル。
今月も人気の木の実笛です。今度は作りやすい「新兵器」が登場します。お楽しみに。

第23回 ファツィオリを弾く会

11/28
(日)

時間:9:30～11:30
会場:ベイタウン・コア音楽ホール
楽器演奏、声楽、合唱etc.どうぞご参加下さい。「聴いている方がおられると、緊張して・・・」など非公開のご希望でも、お受け致しております。どうぞお気軽にお申し込み下さい。
連絡先 阿曾 TEL&FAX 211-0273
締め切り日 11月21日

第2回 ベイタウンコーラスの集い

11/28
(日)

時間:午後1:30開場 午後2:00開演
会場:ベイタウン・コア音楽ホール
主催:ベイタウンコーラスの集い実行委員会
後援:ベイタウンシニアクラブ
入場料:無料
10代～80代と、幅広い年齢の方々が集まる、3つのコーラスグループで、いろいろなハーモニーをお送りします。

引き続き交通問題 他人まかせはやめよう

交通問題が熱い。ペイタウン ネットや街づくりフォーラム（メーリングリスト）などではここ3週間ほど交通問題について議論がつづいた。通常ネットの書き込みなどで同一の問題について継続して議論されることは少なく、交通問題でもこれまで事故が起きたときなどに問題が提起され、しばらく論議されては消えるというのが通例だった。今回はそれが3週

間も続いた。それだけ街の交通問題が危機的な状況を迎えているということだろう。

去る10/16(土)午後4:00頃、富士見通り・プロムナード交差点(11番街・5番街が面する交差点)で、打瀬小学校3年生の男子児童が11番街方向から公共駐車場方向へ自転車で横断中に、富士見通りを10番街方向から左折してきた赤い乗用車にぶつけられると



ひき逃げのあった交差点には今も西警察による看板が...

この街で知り合ったペイタウンカップル誕生。 ～公園東の街で結婚披露パーティ！

10月30日(土)、公園東の街の集会室で下田路晴さん(公園東の街)と青木直子さん(ミラマール)の結婚披露パーティが開かれました。当日はあいにくの雨模様で、美しい緑の中庭を純白のウエディングドレス姿の花嫁と花婿が、人々に祝福されながら進んでくる...という訳にはいきませんでした。お二人の結婚をお祝いしようと多くの人々が集まりました。

お二人は3年前、コアで行われるイベントのボランティア活動を通じて知り合い、ポスターの制作やコーヒーコーナーのお手伝いなどで活躍する、コアではお馴染みのカップルでした。昨年はまくはり京劇クラブのメンバーとしてなんと京劇に挑戦、12月の公演で見事な演技を披露しました。

下田さんは公園東の街でも、月1回映画を上映する「映画の会」

という事故が発生した。幸い児童の怪我は軽微なものだったが、乗用車はそのまま逃走するという「ひき逃げ事件」だった。一時は情報を求める看板を西警察が交差点に立て、「とうとうひき逃げ事件まで...」と住民の不安心理をかきたてた。事故の因に、同交差点をはじめとする富士見通りの異常な両側駐車があることは論を待たないだろう。

そんななか、少し考えさせられる事件も起きた。10/21(木)夕刻、2丁目公園付近の路上で起きた駐車中の車に対するイタズラ犯の逮捕だ。住民の通報による現行犯で逮捕されたという。実はこの事件の2、3日前からペイタウン内では青空駐車と思われる車に、「駐車禁止」のビラを車のフロントガラスに糊で貼り付けるなどの行為がつづき、注意の方法としては「やり過ぎ」ではないかという声が出ていた。事件当日には1番街・CPEのT字路で乗用車のボンネットに自転車を乗せるという行為さえあった。逮捕さわぎはこの日にあり、ネットやフォーラムでは「つかまってよかった」という声書き込まれていた。

確かにこれらの行為は過剰であり、自転車が乗用車の上に乗って

いる風景は、美しい街ペイタウンを落書やゴミの投げ捨てが横行するスラム街にする危険性さえ感じさせる。しかし、これらの行為を働いた人物も、最初は青空駐車が横行し、子どもの交通事故を危惧することでビラの挟み込みなどを行っていた同じペイタウンの住民ではないだろうか。

青空駐車や迷惑駐車に対し、個人で面と向かって注意することは相当勇気がある。朝晩時間のあるときに個人で不法駐車に対してビラを挟む(糊で貼り付けるのではない)など地道な行動を続けている人を何人も知っているが、この逮捕さわぎがこれらの人たちの小さな勇気を萎えさせるものにならないか心配だ。

交通問題はどのように改善しないのだろうか。これまで私たちは交通問題という、警察への取り締まり依頼をどうするかとか、企業庁に駐車場を確保させようなど、行政や自治会連合会などの組織に解決を依頼することばかり考えていなかっただろうか。青空駐車や迷惑駐車が減らないのは連合会が怠慢なせいではない。西警察が取り締まりをしないからでもない。ペイタウン住民の迷惑駐車に対する目が厳しさを失っているからだ。組織頼みにせず、横断歩道の上に駐車している車をみたら、少し勇気をだして「すみませんが」と声をかけてみよう。そんな小さな勇気の積み重ねが大切だ。

【松村】



【佐藤】

「音楽ホール文化振興基金」 企画運営委員の募集

本紙先月号(10月号)でお伝えした、「ベイトウン・コア音楽ホール文化振興基金」の企画運営委員のを募集します。この委員はベイトウン・コアの音楽イベントを企画運営するメンバーです。イベント開催の経験者である必要はありませんが、既存のサークルの代表者としてサークルの利益を考える方よりも、ひろくベイトウンの音楽文化を盛り上げたいという方を募集します。

応募、お問い合わせは

伊藤 (TEL:212-5067、自治会連合会長、文化振興基金準備委員)

松村 (TEL:211-6853 E-mail:mmatz@m2.pbc.ne.jp、コア研、文化振興基金準備委員)

までお願いします。

神田外語大学 生涯教育：研究講座『ラテンアメリカの世界』

ラテンアメリカとは、ラテン民族、ラテン系の言語、伝統文化、生活様式など共通した文化要素が見られる、アングロアメリカに対比した文化的な概念から呼ばれる地域で、33の独立国とカリブ海地域などの11の非独立領土からなる、さまざまな文化と民族が共生する広大な地域です。ラテンアメリカの日系社会あるいは日本メキシコ自由貿易(FTA)のように日本との友好的関係を築いてきた地域でもあります。今回の研究講座では、歴史・文化、社会、政治、経済、言語・文学の観点から、魅力あふれる色彩豊かな「ラテンアメリカの世界」を学びます。

(1)11月13日(土) 10:00～12:30

柳沼 孝一郎「ラテンアメリカの歴史と文化」

(2)11月20日(土) 10:00～12:00

高木 耕「ラテンアメリカの社会」

(3)12月4日(土) 10:00～12:00

子安 昭子「ラテンアメリカの政治」

(4)12月11日(土) 10:00～12:00

小林 晋一郎「ラテンアメリカの経済」

(5)12月18日(土) 10:00～12:00

高松 英樹・高野 雅司「ラテンアメリカの言語と文学」

講演会 13:00～14:00

講演「彩の国メキシコと日本」

講師・在日メキシコ大使館 領事アルフレド・ロベス氏

懇親会 14:00～16:00

神田外語大学「ラ・パス(La Paz)」にて懇親会

※初日は12:30まで

※最終日は講義後に特別講演および懇親会(参加費実費程度)を行います。

受講費：10,000円(受講回数に関わりません。)

申込方法：官製はがきにて、住所・氏名・電話番号を明記し、

〒261-0014 美浜区若葉1-4-1

神田外語大学「ラテンアメリカ講座」係へ郵送。

都市機構のペット共生住宅「パティオス 22 番街」まもなく募集開始！

洗練されたロケーション、おしゃれでスタイリッシュな街でありながら、生活に必要なものすべてを兼ね備える、暮らしのコミュニティー。そんな心やすらぎ環境に、UR賃貸住宅(旧都市公団の賃貸住宅)「パティオス 22 番街」が誕生します。住まう人だけでなくペットも安心して生活できる画期的な工夫、デザインが施された新発想のペット共生型居住空間で、新しい暮らしを始めませんか。

UR賃貸住宅だから、敷金以外の礼金・更新料は不要！保証人も不要！

詳しい情報は、下記の物件ホームページをご覧ください。

〔物件概要〕

- 物件名／幕張ベイトウン パティオス 22 番街 (第1次募集・ペット共生住宅)
- 所在地／千葉県千葉市美浜区打瀬3丁目9番
- 交通／JR京葉線「海浜幕張」駅下車、徒歩18分
または京成バス約5分「パティオス 21 番街」バス停下車徒歩1分
または平和交通バス約8分「パティオス 21 番街」バス停下車徒歩1分
- 募集戸数(予定)〔建設戸数〕／127戸〔220戸〕
- 建物構造／鉄筋コンクリート造7階建て(一部5・6階)
- 住宅型式(予定)／1DK～4LDK+S
- 月額家賃(予定)／109千円台～222千円台
- 募集期間(予定)／平成16年11月27日(土)～12月12日(日)
- 入居可能時期(予定)／平成17年3月中旬
- 物件ホームページ／<http://www.ur-net.go.jp/patios/>



お問い合わせ先

新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー 16階

独立行政法人 都市再生機構 募集販売本部 住宅募集部住宅営業第4チーム

TEL：03-3347-4326〔定休日：土曜、日曜、祝日〕受付時間10：00～17：00

首都圏の都市機構賃貸住宅を紹介するホームページ：

<http://www.ur-net.go.jp/kanto/>

『UR』はUrban Renaissance Agencyの英語略称です。

ベイトウンニュースを助けてください

いつも「幕張ベイトウンニュース」をご愛読いただきありがとうございます。ベイトウンニュースはベイトウン住民がボランティアで発行する新聞です。毎月ベイトウンの全街区に無償で配布しています。発行のための費用は、周辺の企業に広告をだしていただくことで捻出しています。

ベイトウンニュースでは、毎月のニュースを配布して下さる方(ベイトウンニュース・サポーター)を募集しています。特に新しくできた番街では、まだニュースを配布して下さる方がいないので大変です。毎月でなくても結構ですので、是非みなさまのご協力をお願いします。編集部の松村(#10-612TEL:211-6853/e-mail:mmatz@m2.pbc.ne.jp)までご連絡いただくか、直接配布の会においでください。配布の会は毎月第一土曜日10:00から、ベイトウン・コア講習室で行っています。次回は12/4(土)の予定です。

高円宮妃がベイトウンに来訪

去る10月7日(木)、高円宮妃殿下がベイトウンを訪れるという出来事があった。高円宮妃は平成14年に薨去された高円宮の妃殿下。開催中のサッカー全日本ユース(U18)「高円宮杯」でも知られる、国民には人気の高い皇族だ。

妃殿下がベイトウンに来訪されたのは、この日14号線沿いの「幕張ハウジングパーク」で行われた「第16回住宅月間中央イベント」に出席され、その一環として「最先端のまちなみ景観」(イベント広報より)の例としてベイトウンを視察されたもの。皇族の移動とあって警備の都合から我々ベイトウン住民にもほとんど知らされていないかった。

物々しい黒服の集団が見回る中、午後2:30頃、妃殿下はマリンデッキに来ら

れた。デッキよりベイトウンを一望された後、「最先端の住まい」の例としてグランパティオス公園東の街を視察。東の街では樺田さん(東の街管理組合理事長)の案内で、中庭を約30分にわたって散策された(写真参照)。東の街はベイトウンでもコミュニティ活動の盛んな街区。最近に住民が中庭の樹木や花壇を手入れするため「花の会」をつくり、管理組合のバックアップを受けて活動するなど新しい試みが行われている。視察街区として東の街が選ばれた経緯は不明だが、正しい選択だろう。中庭の散策では、その場にいた住民(ちょうど幼稚園帰り子どもたちとママが中庭で遊んでいた)に親しく声をかけられるなど、さわやかな印象を残された。

東の街からは車でベイト

ウン・コアへ移動。黒塗りの高級車数台がプロムナードを疾走した。視察場所にコアが選ばれたのは事前に自治会連合会に相談があったとのこと。

コア到着後、妃殿下は田中館長よりコアの説明を受け、その後すぐに図書館を視察された。案内役は鶴岡千葉市長。一般住民の来訪

は規制されていなかったのでも妃殿下は親しく声をかけられた。何も知らずにコアに来ていた人たちには何があったのかとっさには分からなかった模様だ。黒服着用の市や県職員が狭いコアに大挙して警備する中、異様な雰囲気だけは察したと思うが、後で高円宮妃殿下に声をかけられ

たと知って驚く人もいた。残念ながらコアの視察では、講習室や工芸室はもちろん自慢の音楽ホールに入られることもなかった。住民と行政が協力して運営する、新しい街作りの象徴としてコア・ホールやピアノについても妃殿下に紹介してもらいたかったと思うが、どうだろう。

打瀬中学校が10周年記念文化祭

打瀬中学校では、10月30日(土)「10周年記念文化祭」が開かれた。午前8:30に始まった記念式典では、打瀬中のこれまで歴代の校長先生をはじめ、在職した多くの教職員が招かれた。開校当時の生徒数は45名。現在の生徒数は404名。10年で10倍近くにもなった学校をみて、開校当時勤務したある先生は感慨深そうだった。

文化祭は記念式典のあと、午前中は各学級対抗の「合唱コンクール」、午後は展示と発表見学、地域交流が行われた。打瀬中学校では例年文化祭は「屋台村」方式の生徒個人の研究発表を行っていたが、生徒数の増加により全校生徒による発表は難しくなり、今年から千葉市の各中学では通例となっているクラス対抗合唱コンクールを文化祭の中心行事にした。

準備開始。それぞれの生徒達へのピアノ指導はもちろん、当日の構成、進行方法、教室の枠を超えた合同合唱など、毎週集まり熱心に企画を練り上げていきました。9月に入ってからの週末は生徒達もコアに集合。講師陣は抜群のチームワークで優しく温かく子供達にレッスン。子供達もいつもとは違うたくさんの仲間や先生達との時間に大喜びでした。

当日は10時から17時まで絶え間なく素敵な演奏が披露されました。最後は八人の先生方が四人ずつに分かれての見事な8手連弾。音楽を愛する講師達の輪が子供達、親達へと広がっていきました。【北村】

中学生ともなると特に男子は人前で歌声を聞かれることなど恥ずかしがるものだと思うが、この日ばかりはクラス対抗ということもあり、男子生徒もクラスの名誉のため「熱く」歌って



おばあちゃんの「ゆびあみマフラー」

寺子屋「工作ランド」(代表:鎌田繁)と同「手芸教室」(代表:林郁子)は、それぞれ10/23(土)と10/30(土)に「ウィークエンドふれあい広場」の支援を受けた工作講座を開催した。「ウィークエンドふれあい広場」は市教育委員会が学校週5日制の導入に伴い行う地域活動支援事業。このうち手芸教室が開催した「ゆびあみマフラー」

には40人の小学生が参加した。先着順のため9:30開始にもかかわらず9:00前から並ぶ子もあり、30人ほどの子は入場できなかったほどの人気だった。「ゆびあみ」は文字通り編み針を使わず、指だけで毛糸を編む。お手伝いに参加した10人ほどのおばあちゃんたちも、昔を思い出した孫のような子どもたちと一緒に過ごした。



第7回ベイトウン音楽会「オータムコンサート」

さわやかな秋晴れの10月17日(日)、小さな紳士・淑女を伴ったたくさんの家族がコアに集まりました。ベイトウン内でピアノ講師をしている「ベイトウン音楽

愛好会」の先生方が合同で開催する発表会。親子の連弾もあり、100名以上が世界屈指のコンサートピアノFAZIOLIの前に座りました。講師陣はずいぶん前から



京成バスは地域密着のバスを めざしています。

千葉ロッテ
マリーンズ
ラッピングバス
登場！

京成バスでは、地域密着のバス会社をめざす一環として、8月末より「千葉ロッテマリーンズラッピングバス」を運行しています。ラッピングを施したのは、幕張ではすっかりお馴染みの連節バス。全長18mの車体いっぱいには描かれた「マークン」「リンちゃん」「ズーちゃん」のキャラクターは注目度も抜群です。



「走」「攻」「守」に大活躍のマークンが描かれているよ。(左側面)



「マークン」「リンちゃん」「ズーちゃん」とマリンスターム。(右側面)



今シーズン、惜しくもプレーオフ進出を逃したマリーンズ。「来年こそは！」の想いを乗せて、京成バスはこのラッピングバスをはじめ、様々なかたちでマリーンズを応援していきます。



後続車のドライバーへ、マークンが「追い越し注意」を呼びかけてるよ。(後部)

〈耳より情報〉

当社ホームページで、ベイタウンバスの時刻表をご覧ください。

<http://www.keiseibus.co.jp>

トップページ→「路線バス」→「駅発着の路線バス・JR京葉線」→「海浜幕張駅」→「タウンルート」or「マリンスターム」→「地図内の停留所」の順にクリックしてください。

※その他の路線の時刻表は現在準備中です。

京成バス 船橋営業所 047-431-4476

茜浜車庫 047-453-3788

URL <http://www.keiseibus.co.jp>

Keisei Bus